

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0890800022		
法人名	有限会社 ふれあい介護サービス		
事業所名	グループホーム ふれあい		
所在地	茨城県龍ヶ崎市長原塚町3605-5 (電話) 0297-64-1553		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年3月11日	評価確定日	平成21年7月9日

【情報提供票より】(平成21年2月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年9月17日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	9 人	常勤	5人, 非常勤 4人, 常勤換算 3.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,300 円		

(4) 利用者の概要(平成21年2月10日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	4	要介護2	4		
要介護3	8	要介護4	2		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 83 歳	最低	72 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ふたばこどもクリニック、野村歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営者は訪問介護事業を営むなかで認知症高齢者の家族の負担を軽減するとともに、利用者が穏やかに過ごせる場所を提供したいとの思いから開設した。
周囲は自然に恵まれており、普段は近くの牧場に散歩に出かけるなど利用者はゆったりとした雰囲気与生活している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 初回の受審につき該当なし。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者は職員の意見を聞きながら自己評価を作成しているが、全職員が外部評価の意義や目的を理解するまでには至っていない。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議を半年に1回開催し、避難訓練の日程や方法などを話し合うとともに、出た意見をサービスの質の向上に活かしている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 重要事項説明書や契約書に事業所の苦情相談受付窓口や国民健康保険団体連合会などの第三者機関窓口を明記している。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 事業所の餅つき会に地域の人々を招待して一緒に楽しんでいる。 自治会に加入し地域の廃品回収を職員と利用者が一緒に手伝ったり、散歩の途中で地域の人々から野菜をもらうなど地域の人々と交流している。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「第二の我が家」や「地域の皆様方とふれあいながら」などのキーワードが入った独自の理念を全職員でつくっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をネームプレートに入れ、カンファレンス時に繰り返し確認している。 「第二の我が家」という理念の実践に向け、利用者が希望する起床時間に合わせるなどリズムを大切にして支援をしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所の餅つき会に地域の人々を招待して一緒に楽しんでいる。 自治会に加入し地域の廃品回収を職員と利用者が一緒に手伝ったり、散歩の途中で地域の人々から野菜をもらうなど地域の人々と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員の意見を聞きながら自己評価を作成しているが、全職員が外部評価の意義や目的を理解するまでには至っていない。	○	外部評価の目的や活用方法を全職員で話し合い自己評価を作成することを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を半年に1回開催し、避難訓練の日程や方法などを話し合うとともに、出た意見をサービスの質の向上に活かしている。	○	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、外部評価の結果も報告することを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	集団指導や実地指導の機会を通して市と共にサービスの質の向上に取り組むとともに、市社会福祉協議会に「傾聴ボランティア」の受け入れを働きかけている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	広報紙「ふれあいだより」で事業所全体の様子を伝えるとともに、月1回利用者の家族等に手紙と写真をそえて暮らしぶりや健康状態を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書や契約書に事業所の苦情相談受付窓口や国民健康保険団体連合会などの第三者機関窓口を明記している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は職員ときめ細かなコミュニケーションをとり離職を最小限に抑えている。離職があった場合は利用者に報告し、納得してもらえるよう努めている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は職員の段階に応じた研修が受講できるよう努めているが、職員の勤務体制の都合で研修を受ける機会を確保するまでには至っていない。	○	職員育成の重要性を認識し、職員の段階に応じた研修計画を作成するとともに実施することを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は地域の同業者の交流会に参加しているが、職員が交流するまでには至っていない。	○	職員も含めた同業者との交流によりサービスの質の向上に活かすことを期待する。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホーム見学の機会をつくり、利用者や家族等が納得したうえで利用を開始している。 利用開始後も利用者が「自宅に帰りたい」などの希望があった場合は、一時帰宅してもらい気持ちが落ち着くよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「利用者あつての職員である」との考えに基づき、職員は利用者からハーモニカや詩吟を教わるなど支え合う関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日々の生活のなかで把握した思いや意向を「気づき帳」に記録している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は全職員でカンファレンスを行い作成しているが、カンファレンスの議事録を作成するまでには至っていない。 介護計画を家族等に説明し同意を得ている。	○	支援にあたる全職員が同じ視点と方向性を共有するためにカンファレンスの議事録を作成することを期待する。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月ごとに介護計画を見直しているが、モニタリングや評価記録を作成するまでには至っていない。	○	モニタリングや評価を踏まえての介護計画の見直しであるという観点から、モニタリングシートや評価シートを作成することを期待する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族等と協力しながら通院支援など柔軟に対応している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族等と協力しながらかかりつけ医への受診を支援しているが、基本情報シートなどにかかりつけ医氏名の記載漏れが見られる。	○	かかりつけ医へのさらなる受診支援に向けて、かかりつけ医や希望医療機関、受診経過などを確実に記録することが望まれる。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けて全職員で方針を共有しているが、方針を明文化した書類を整備するまでには至っていない。	○	共有する方針を明文化するとともに、利用者一人ひとりの方針について話し合った結果を記録に残すことが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄誘導の際は耳元で話すなど、利用者の尊厳の保持を常に念頭におき支援している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切にしようとしているが、入浴時間や食事時間などで職員の決まりや都合を優先してしまう場合がある。	○	利用者一人ひとりのペースを守るための工夫などを職員で話し合い、サービスの質の向上に取り組むことを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が楽しい雰囲気と一緒に食事をしている。 散歩の途中で地域の人からいただいた野菜を食材に加えるなどで旬の味わいを楽しんでいる。 利用者は食器拭きなど食事の後片付けを担っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一日おきの入浴と決まっているが、入浴日以外でも利用者一人ひとりの希望や状態に合わせてシャワー浴や清拭など支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	土いじりが好きな利用者に畑仕事を担ってもらったり、裁縫やカラオケなど一人ひとりの生活歴や趣味を活かした支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は近くの牧場へ散歩に出かけるとともに、途中で知り合いの家に立ち寄りお茶飲みをしている。 月に1回温泉や植物園などに遠出している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事業所内の勉強会で身体拘束の弊害について話し合っている。 玄関の鍵はかけずに職員で外出傾向のある利用者に注意をするとともにチャイムで外出を確認している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を実施するまでに至っていない。	○	消防署や地域の人々の協力を得た避難訓練が実施されることを期待する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事量や水分摂取量を記録するとともに、嚥下の状態に応じた刻み食の提供など利用者の状況に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく広々とした共用空間に季節の草花や雛飾りなどを置き、利用者がゆったりとした雰囲気での生活ができるよう工夫するとともに玄関前にベンチを設置し、天気の良い日は戸外で過ごせるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者が仏壇や位牌、テレビ、使い慣れた筆筒などの調度品を持ち込み、居心地よく過ごせる場所になっている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。